

# SDGsにおけるESDの主流化に向けた「ポリシーメーカー育成塾」事業

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

SDポリシーメーカーの育成 30人

座学・フィールドワーク等の開催 10回

今年度計画の達成度 100%

目標達成度 100%



第13期第2回講座講師、嘉田由紀子氏

## 苦勞した点と工夫した点

### ■ 苦勞した点

中部サステナ政策塾は、20～30歳の若者を対象として、広く多分野から塾生を募った。大学生、行政官、企業人など、塾生のバランスの取れた募集と選考に苦勞した。

### ■ 工夫した点

座学を聞くだけの学びではなく、ファシリテーション能力の育成や現場学習の機会を増やすことを工夫した。また、塾生間交流の促進のための場づくりを最大限提供した。

## 課 題

課題は、①持続可能な社会づくりの企画・立案・推進を担うポリシーメーカーの質的・量的不足、②新規性の高いESD活動の不足、③ESDの国際的認知度の低さ

## 目 標

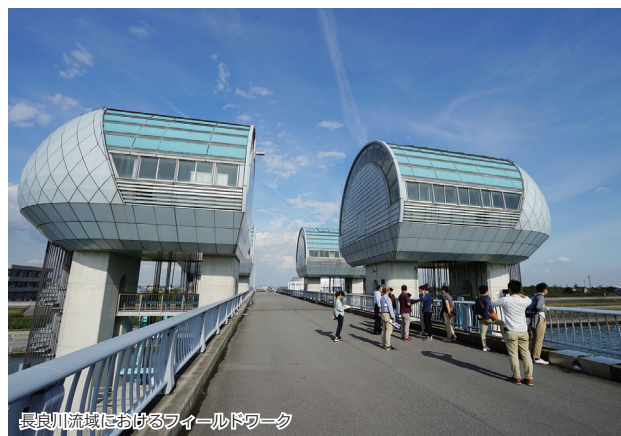
地域の課題解決能力を有し、地球規模の諸課題を解決するグローバルな連帯に向けたSDGsの取組みを推進できる広義のポリシーメーカーが創り出す社会の持続可能な状態。

## 活動内容と成果

地域の持続可能な社会づくりに寄与すると同時に、国際的なSD活動に貢献できる広い意味でのポリシーメーカーを育成するため、20～30歳代の若者を募集し、30人を選考した。各種政策に関わるSD人材を育成するために、政治家、行政官、起業家、教育者を目指す多様な立場の若者が入塾して、サステナビリティに関する各分野の第一人者による講義等の座学、伊勢・三河湾流域圏を活動対象地としたフィールドワーク、グループ討議やディスカッションなどを行った。また、塾生は国際的な情報発信活動や、成果発表会に参加した。



中部サステナ政策塾成果発表会の全体討論



長良川流域におけるフィールドワーク

## 全助成期間の活動を振り返って

若者の政治離れが論じられるようになって久しいが、サステナビリティを合言葉に、主義主張や政治信条の異なる若者が多く集って学びを共にした経験は、塾生の将来にとって大変有意義な経験になった。各分野の第一線で活躍する講師陣から受ける講義と交流を通して、具体的な課題解決方法を学べたことで、サステナビリティの意識が高い若者リーダーが各分野に排出されることとなった。

| 活動地域 | 愛知県・岐阜県・三重県

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200

電話：0568-51-7618

E-mail：esd@office.chubu.ac.jp

http://chubu-esd.net/



今後の  
展望

今後は、中部サステナ政策塾の塾生を中心とした若者ネットワークを核とする、東海・中部地域におけるSDGsネットワークを発展させる。その対象地を、伊勢・三河湾流域圏として、地域内の課題を調査し、流域圏版SDGsを設定して、目標達成に向けた活動を展開する予定である。SDGsにおける目標間の相互関連や同時達成を目指し、多様な主体の参加型プロジェクトを新たに立ち上げる。